

---

# GunSmithy

雑用長

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Gunnsmithy

### 【Nコード】

N2467M

### 【作者名】

雑用長

### 【あらすじ】

私達の世界とは似ているけど少し違う世界。その世界の日本にあたる<sup>あしはらのなかつくに</sup>葦原中国という国では、こちらの世界の日本と違う事が一つだけありました。それは銃の所持許可がなされている事。そんな国で銃器製造者育成の指定を受けている高校がありまして…高校生のドクパチ物語、合法的にスタート！

## プロローグ

私たちの世界とは似ているけど少し違う世界。

その世界で日本にあたるあしはらのなかづくに葦原中国という国では。現実世界の日本とは違い、銃の所持が許可されていました。

しかし、“先の大戦”に負けた葦原は兵器、武器の生産、運用がとてもしづらい国になってしまったのです。

空白による技術の低下ももちろんですが、何よりの理由は、「もう戦争や闘争はこりこりだ！」という世論でした。

混沌としている時は皆、銃器を欲しがりました。

しかし、世の中が良くなるにつれ、上の様な意見は更に加熱していったのです。

需要が無い商品は売れず、需要の高い商品は売れます。

葦原では、銃を持つ者は激減し、需要がある者もわざわざ高い国内製は買わず、信頼性のある外国製を選びました。

かといって葦原の銃器製造会社が外に目を向けると、値段以上に運用の問題が大きかったのです。葦原の銃は伝統的に、ポピュラーでない弾が使われているのです。

そんなわけで戦後60年はあっという間に過ぎ去り、気付けば葦原の銃器製造会社は、民間向けに製造している1社と、国軍に卸してい

る2社のみ。

これではまずいと思った政府は、文部科学省に命じ、銃器製造のスペシャリストを育成することにしました。

銃技師育成学校 (Gunsmith Foster School)  
指定システム

通称“GFS”

その指定校の一つに、安蘇葦原<sup>あそあしはら</sup>大学高等学校という学校がありました。

入学式も終わって駆け足に時が過ぎ5月、今年入った一年生も高校生活慣れ始めまして、彼等も平穩に暮らしております。

ただ、自ら進んで銃器の道に歩む者達が普通である筈もなく…

そんな彼らの平穩は、平穩の一言では表せない、一癖も二癖もある平穩なのでした。

ここが君等の仕事場だ。若き銃砲鍛冶屋達よ。

“Gunsmithy”スタート!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2467m/>

---

GunSmithy

2010年10月8日22時55分発行